

10. 中越地震のつめ跡 斜面崩壊とせき止め湖

(長岡市山古志木籠付近)

赤矢印は、中越地震（2004年）で斜面崩壊し、芋川をせき止めた場所。
崩壊土砂量は県庁舎で約7杯分。せき止め湖で木籠（こごも）の集落水没。
崩壊地点は、西に傾斜した砂質泥岩と砂岩が互いにくりかえす地層構成
地層の境界面ですべりが発生 流れ盤斜面の地層面すべりという。
中越地震では、各所で地すべりや崩壊が多発。中山間地地震災害の典型。

